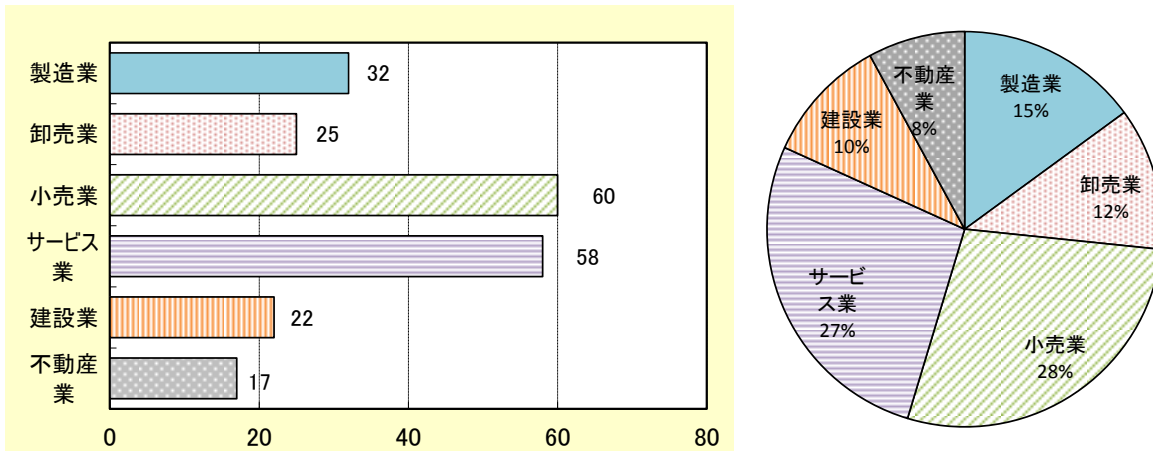


2019年の経営見通し(業種別の集計)

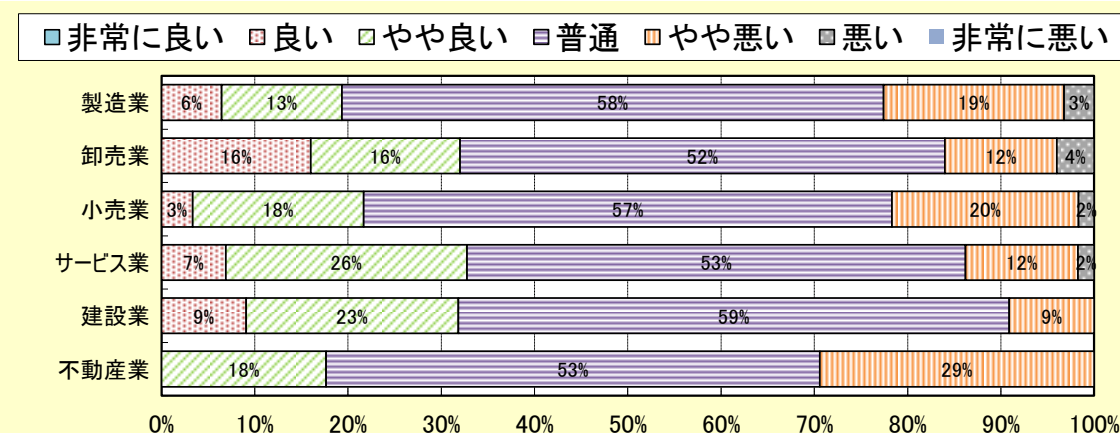
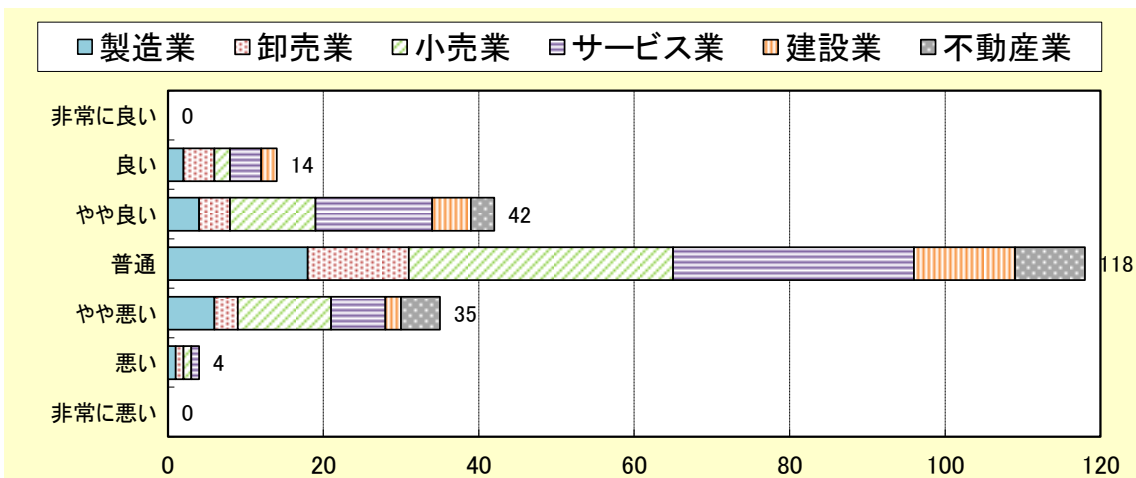
2018年10月～12月期 景気動向 特別調査 調査先214先

基本情報 調査先の業種別構成比



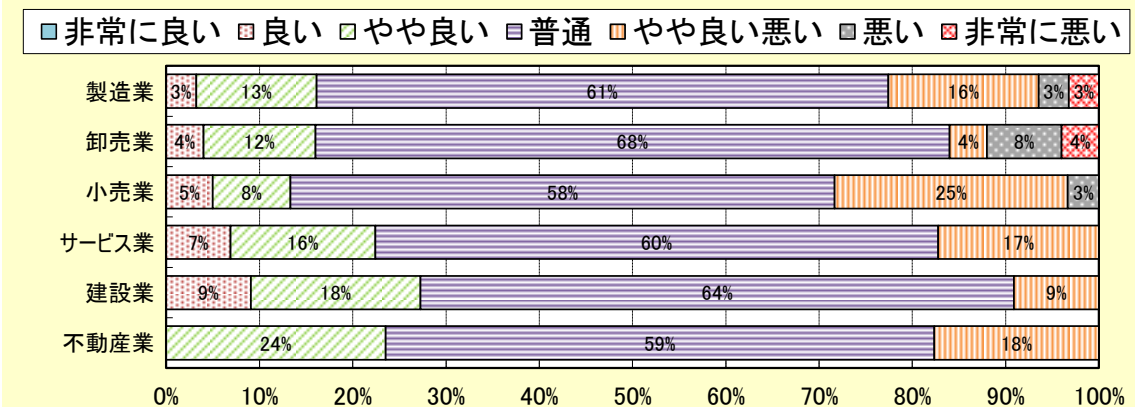
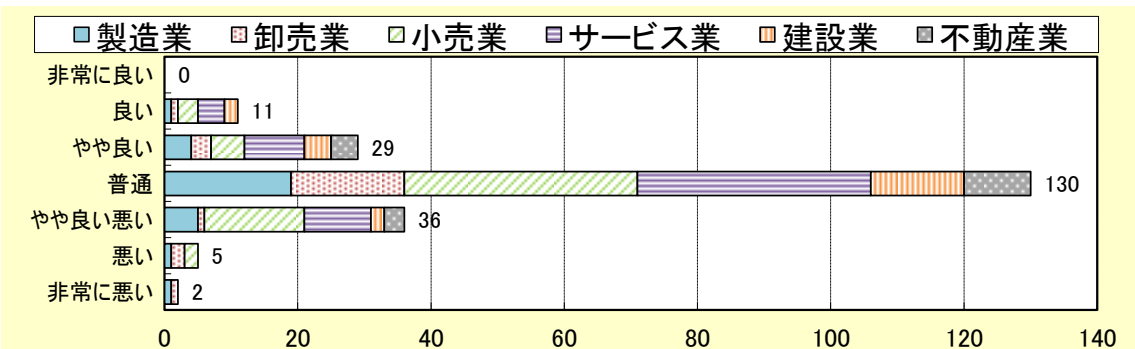
問1 貴社では、2019年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

コメント 2019年の日本の景気については、「普通」が最も多くなっている。また、「良い項目」と「悪い項目」では意見が割れている。業種別に見ると、「卸売業」、「サービス業」、「建設業」において、「良い項目」を選択している割合が大きく、「製造業」、「不動産業」において、「悪い項目」を選択している割合が大きい。



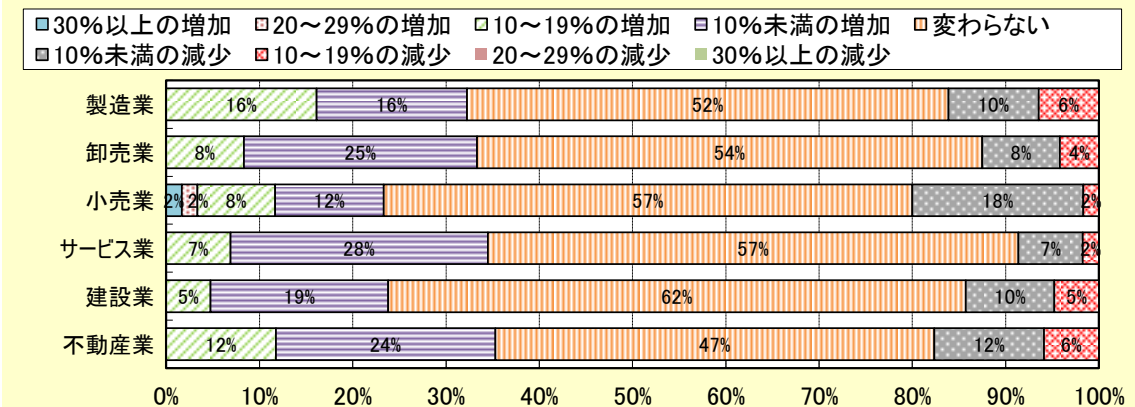
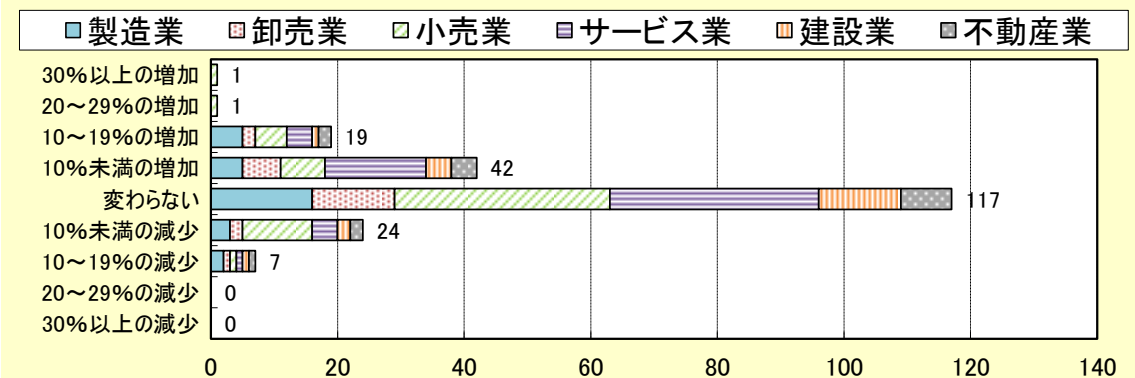
問2 貴社では、2019年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

コメント 2019年の日本の自社の業況(景気)については、「普通」が最も多くなっている。また、「良い項目」と「悪い項目」では意見が割れている。業種別に見ると、「サービス業」、「建設業」、「不動産業」において、「良い項目」を選択している割合が大きく、「製造業」、「小売業」において「悪い項目」を選択している割合が大きい。



問3 2019年において貴社の売上額の伸び率は、2018年比べておおよそのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

コメント 2019年の売上伸び率については、「変わらない」が最も多くなっている。また、「増加」と答えた企業が63先であるのに対し、減少と答えた企業は31先であった。業種別に見ると、全業種において、「増加」を選択している割合が大きい。



コメント 自然災害や異常気象により受けた影響としては、「影響は受けなかった」が最も多く、次いで「売上・受注の減少」、「仕入・調達・納期の遅れ」となっている。業種別に見ると、「小売業」、「サービス業」において「売上・受注の減少」を選択した割合が大きく、「卸売業」、「小売業」、「建設業」で「仕入・調達・納期の遅れ」を選択した割合が大きくなっている。なお、不動産業では「店舗設備や工場等の損壊」を選択した割合が大きくなっている。

